



弓道練成の心得と 危険防止「10箇条」

練習における心得

- 道場においては、指導者または責任者の指示に従うこと。
- 道場への入退場時は「礼」を行い、他の人の迷惑になる言動を慎むこと。
- 弓具及び巻藁は練習前に点検確認、終了後は整備を行うこと。
弓・矢の破損/弦通り/握り革/弓把の高さ/中仕掛/矢の長さ/箭割れなど

巻藁練習時の注意

- 準備運動後、弓の破損防止のため数回ゆっくりと素引きを行うこと。
- 巻藁から弓一丈(約2m)の距離を取り、行うこと。
- 矢を抜く時は左手を巻藁に当て、右手は矢の根元を持ち、後方に注意しつつ慎重に抜くこと。

的前練習時の注意

- 練習中は、許可なく矢道・安土に立ち入らぬこと。
- 矢道・安土に人がいる時は矢番え・取懸けやつが とりかをしないこと。
- 矢取りは、射手側と相互に合図し、自らの目で安全を確認すること。

総括

- 事故は正規の練習よりも、自由練習の際に起きる場合が多い。
「弓矢は武器としての危険性を有する」ことを、肝に銘じて行動すること。